

# 第2学年算数科学習指導案

日 時: 2022年9月29日(木) 5校時  
 場 所: 滝川市立滝川第二小学校2年1組教室  
 児 童: 28名  
 指導者: T1: 山田 智史 T2: 梶原 ルミ子

## 1. 単元名「かけ算」(第2学年A「数と計算(3)乗法」)

### 2. 単元について

本単元では、日常の具体的な事象を通し乗法の意味や式の表し方を学習する。具体物の操作などから1つ分の大きさ×いくつ分という式の意味を理解する。また、乗法の性質を生かして九九を構成し、十分な時間をかけて習熟を図る。

本学級の児童は、かけ算への興味関心が高く、意欲的に学ぼうとしている児童が多い。本時で扱うロイロノートは様々な教科でタッチ操作を中心に扱ってきている。

#### <研究とのつながり>

個人思考では、かけ算で表せる具体物の写真から同じ数ずつのまとまりを見つけて立式する。ロイロノートを用いて児童に写真を提示することで、同じ数ずつのまとまりを自分なりの見方で探したり、多様な分け方を考えたりする活動の充実を図り、個別最適な学びを目指す。全体交流では、ロイロノートの発表機能を用いて考えを説明する。発表する児童の考えをそれぞれの端末に表示することで、視覚的な理解を促す。考えを比較し共通点や類似点、相違点に着目することで、多様な見方に気付いたり効率的な分け方などを考えたりする活動の充実を図り、協働的な学びを目指す。適応題では、協働的な学びの中で培った見方を活用しながらそれぞれが教室の中から同じ数ずつのまとまりを見つける活動に取り組むなど、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。ICTの効果的な活用を通し、初めてかけ算と出会う児童に対して「難しい」ではなく、かけ算は「便利」という意識を持たせていきたい。

### 3. 単元の目標と評価規準・指導計画

#### (1) 単元の目標

- 基準量のいくつ分かにあたる量を求めることを通して、乗法の用いられる場合について理解する。また、数の乗法的な構成について理解する。
- 乗法の場面を式に表したり、式をよんだりすることができる。
- 乗法に関して成り立つきまりを用いて、5, 2, 3, 4の段の九九を構成する。
- 5, 2, 3, 4の段の九九の唱え方について知り、5, 2, 3, 4に1位数をかける計算が確実にできる。

#### (2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
乗法の意味や乗法は累加で答えを求めることができることを理解している。式に表したり、式をよみ取ったりすることを通して、乗法が用いられる場面の数量の関係について理解している。	乗法が用いられる場面を具体物や図などを用いて考え、5, 2, 3, 4の段の九九の構成の仕方を考えている。	乗法のよさに気づき、乗法を用いようとしている。また、進んで九九を構成しようとしている。

#### (3) 単元の指導計画

時	ねらい	評価計画		
		知・技	思・判・表	態度
1・2	乗法の意味や式の乗法の式について理解する。	◎	○	○
3	場面を乗法の式に表したり、式をよみ取ったりできる。	◎	○	○
4	乗法の答えの求め方を理解する。	◎	○	○
5	具体的な場面と関連づけて乗法の式を用いることができる。	○	◎	○
6(本時)	身のまわりのものを乗法の式で表すことができる。	○	○	◎

7	5の段の九九を構成することができる。	○	◎	○
8・9	5の段の九九を唱えることができる。	◎	○	○
10	2の段の九九を構成することができる。	○	◎	○
11・12	2の段の九九を唱えることができる。	◎	○	○
13	3の段の九九を構成することができる。	○	◎	○
14・15	3の段の九九を唱えることができる。	◎	○	○
16	4の段の九九を構成することができる。	○	◎	○
17・18	4の段の九九を唱えることができる。	◎	○	○
19	乗法の式に合う問題を作ることができる。	○	○	◎
20	学習内容の理解し、基本的な問題を解決することができる。	◎	○	○

#### 4. 本時案 (6 / 20)

##### (1) 本時の目標

○身のまわりのものを乗法の式で表そうとしている。

##### (2) 本時の展開

	児童の学習活動と内容	教師の発問(○)や手立て(・)	視点との関わり・評価(■)
つかむ 7分	1 問題を知る。	・問題を把握させる。	
	P 9 (葉6) 身のまわりから、かけ算の式であらわせるものを見つけましょう。		
考える 18分	2 課題を把握する。	・課題を提示する。	
	課題 かけ算の式であらわせるものを見つけるにはどうすればよいか。		
深める 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かさ立て(縦4横9)の写真からまとまりを考える。</li> <li>・4をまとまりとして見ると「<math>4 \times 9</math>」</li> <li>・9をまとまりとして見ると「<math>9 \times 4</math>」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「どこを1つ分の数(まとまり)として見るとよいでしょう。」</li> <li>・補助線を引いてまとまりを見つけやすくする。</li> <li>・答えは一つではない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートで写真を提示し、まとまりを見つける作業を例示する。(視点2)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 個人思考</li> <li>・P 9の3つの写真から選択し自分なりの見方で同じ数のまとまりを探し、かけ算の式に表す。</li> <li>4 全体交流</li> <li>・見つけた1つ分の数(まとまり)をもとに、立式した過程を説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「P 9の写真から一つ選び、同じようにまとまりを見つけて立式しましょう。」</li> <li>・多様な見方で見つけることを伝える。</li> <li>○「なぜその式になったのか写真をもとに説明しましょう。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロイロノートで写真を送る。(視点1)</li> <li>■自分なりの見方で1つ分の数を探して立式している。(ロイロノート)</li> <li>・ロイロノートで発表者の写真をそれぞれのPC上に表示させる。(視点1)</li> <li>■1つ分の数(まとまり)を捉えてかけ算の式に表している。(発表・ロイロノート)</li> </ul>
ふりかえる 5分	5 学習をまとめる		
	まとめ 同じ数のまとまりを見つけるとよい。		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>6 適応題に取り組む。</li> <li>①個人思考</li> <li>・教室の中から、同じ数ずつのまとまりを探し、かけ算の式に表す。</li> <li>②全体交流</li> <li>・答えと考え方を交流。</li> <li>7 ふりかえりをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「教室の中で、同じ数のまとまりを探し、かけ算の式に表しましょう。」</li> <li>・全体交流で培った様々な見方を生かすよう伝える。</li> <li>・様々な見方を紹介する。</li> <li>○「自分で考えたことや友達の説明を聞いて思ったことを振り返りましょう。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■1つ分の数(まとまり)を捉えてかけ算の式に表している。(発表・ノート)</li> </ul>